

てん じ さく ひん さく しや しゅっしん ち
展示作品の作者の出身地

Kingdom of the Netherlands

アムステルダム
Amsterdam

ヤンティーン・パウスマン
フース・コイヤ
ハンス・アンドレウス
カール・ホランダ
マルヨライン・ホフ
ヤン・ブロッケル
ロナルド・トルマン
シュールト・コイパー
ミレイユ・ヘウス
イサベル・ホーフィング
アン・ルッヘルス・ファンデル・ルフ

アルクマール
Alkmaar

ノエル・スミット

ハーレルム
Haarlem

アンネマリー・ファン・ハーリンゲン

ライデン
Leiden

ハリエット・ヴァン・レーク
カリナ・スカープマン

デン・ハーグ
Den Haag

ヨーケ・ファン・レーウェン
マックス・ベルジュイス
メンシェ・ファン・キュレン

ブリーレ
Brielle

トーン・テレヘン

カペレ
Kapelle

アニー・M.G.シュミット

オーストブルフ
Oostburg

マルティン・ファン・デル・リンデン

フローニンゲン
Groningen

ヤン・マリナス・ヴェルブルグ

カンペルフェーン
Kamperveen

ヤン・テルラウ

ブッサム
Bussum

パウル・ビーヘル

フォールスコーテン
Voorschoten

ワウター・ヴァン・レーク

フォールブルフ
Voorburg

トルード・デ・ヨング

ホルクム
Gorinchem

ジョージン・オーパーワータ

ロッテルダム
Rotterdam

リンデルト・クロムハウト

テア・ベックマン

ビビ・デュモン・タック

デン・ボス
Den Bosch

マルフリート・ヘイマンス

ザルトボメル
Zaltbommel

フィーブ・ウェステンドルブ

ユトレヒト
Utrecht

ディック・ブルーナ

アッセン
Assen

ミーブ・ディークマン

ズトフェン
Zutphen

C.E. ポートハスト・ギンベルク

マルケロー
Markelo

レオニ・コーイケル

アルネム
Arnhem

エルス・ベルフロム

ベーター・ファン・ストラテン

ヤン・ユッテ

ナイメーヘン
Nijmegen

マライヤ・トルマン

シッタートヘレーン
Sittard-Geleen

パウル・ヴァン・ローン

ヘールレン
Heerlen

ハリー・ゲーレン

オランダの 金の筆と 銀の筆

— 子どもの本の世界

発行 国立国会図書館 2018年3月6日発行

編集 国立国会図書館国際子ども図書館

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-49

TEL 03-3827-2053 (代表)

URL <http://www.kodomo.go.jp/>

国立国会図書館
National Diet Library, Japan

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



International Library of Children's Literature

国立国会図書館 国際子ども図書館

The Golden and Silver Brush Awards in the Netherlands
- The world of children's books

国立国会図書館国際子ども図書館展示会「オランダの金の筆と銀の筆
—子どもの本の世界」(2018年3月6日～7月15日)では、国際子ども図書館が
開館以来集めてきたオランダ語の本と翻訳書を紹介します。オランダ児童書
各賞受賞作品や受賞作家・画家に触れながら、オランダの子どもの本につい
て解説します。

オランダで最も歴史と権威があるとされる金の石筆賞や金の絵筆賞を始
め、子どもたちが審査員となって人気の作品を選ぶオランダ子ども審査団賞、作家・
画家の業績全体を表彰するテオ・タイセン賞やマックス・ベルジュイス賞な
ど、多種多様な賞を取り上げます。

※作家・画家名の日本語のみや、未訳のオランダ語作品の日本語タイトルなどについては、
翻訳家・作家の野坂悦子先生にご協力をいただきました。

オランダの子どもの本

オランダの児童書は、1778年のヒエロニムス・ファン・
アルフェンの詩集 *Proeve van kleine gedigten voor kinderen* (子どものための小さな詩の実例) が
始まりとされています。フランスの哲学者ルソーの
「子どもの発見」などの思想が広まり、子どもは大人と
は異なる独自の存在と見なされると共に、オランダでは
子どもは楽しみながら学ぶべきという考えが生まれ、
この詩集も遊び心のある筆致で書かれました。

その後19世紀には、グリム童話を始めとするドイツ、
イギリス、フランスの作品の影響を受け、オランダ児童
文学は次第に開花していきます。20世紀に入った1902年
には〈オトとシーン〉シリーズが誕生し、後の『イップとヤ
ネケ』にもつながる、男の子と女の子の主人公がいたず
らをするというストーリーの土台が築かれました。



『イップとヤネケ』
アニー・M.G.シュミット 作
フィーブ・ヴェステンドルフ 絵
西村由美 訳
後藤葉子 (QUESTO) 装丁
岩波書店 2004

1960年代になると、オランダ国内で多色刷り
が普及し、カラーの絵本が広まっています。
デザイン性が高く、選びぬかれた鮮やかな色彩
が特徴のディック・ブルーナの〈うさこちゃん〉
〈ミッフィー〉シリーズ、繊細なタッチの豊かな
感情表現が印象的なマックス・ベルジュイス
の〈かえるくん〉シリーズなど、世界的な人気を
誇る作品が生まれました。オランダの子どもの
本の国際化には、こうした魅力あるイラストレー
ションも重要な役割を果たしています。



『うさこちゃんのてんと』
ディック・ブルーナ ぶん・え
まつおかきょうこ やく
福音館書店 2008

『ミッフィーのたのしいテント』
ディック・ブルーナ さく
かどのえいこ やく
スタジオ・ギブ 装丁
講談社 1995
Illustrations Dick Bruna ©
copyright Mercis bv,
1953-2018 www.miffy.com



最優秀児童文学賞 Kinderboek van het Jaar

1954年に創設された「最優秀児童文学賞 (Kinderboek van het Jaar)」は、本の宣伝や普及に取り
組む書籍販売と出版社の団体であるオランダ図書共同宣伝機構 (CPNB) により、前年に出版された
オランダで最も優れた物語に対して与えられた賞です。1966年からは、対象年齢が9歳までの作品と
10歳以上の作品のあわせて2作品に賞が贈られるようになりました。そして、1971年からは現在の
「金・銀の石筆賞」へと変わりました。

2004年には、賞にとって創設50周年の節目を記念して「石筆賞の中の石筆賞」が選ばれました。金の
石筆賞以降の作品を含む歴代の受賞作の中から、1963年に最優秀児童文学賞を受賞した、トンケ・ドラ
フトの『王への手紙』が栄えある第1位に輝きました。本作は、続編にあたる『白い盾の少年騎士』とあわ
せて改めて注目を浴び、2008年にオランダで映画化されました。



『消えたエリーネ号』
ミープ・ディークマン 作
関楠生 訳 関みち子 絵
関みち子 装丁・さい絵
ポプラ社 1970
【1956年受賞】



『巨人スホイフレバンド』
ヤン・ブロッケル 作
熊倉美康 訳
箕田源二郎 絵
新日本出版社 1968
【1961年受賞】



『王への手紙 (上・下)』
トンケ・ドラフト 作
西村由美 訳
岩波書店 2005



【1963年受賞】【2004年 石筆賞の中の石筆賞受賞】

きん せき ひつしょう ぎん せき ひつしょう 金の石筆賞・銀の石筆賞 Gouden Griffel & Zilveren Griffel

1971年に、前身の「最優秀児童文学賞」から「金の石筆賞(Gouden Griffel)」と「銀の石筆賞(Zilveren Griffel)」になりました。同時に、佳作にあたる「旗と吹流し賞(Vlag en Wimpel)」も創設されました。現在は、6歳未満、6歳以上、9歳以上、ノンフィクション、詩という5つのカテゴリーに分かれ、各カテゴリーごとに銀の石筆賞が選ばれ、これらすべての中から1作品が金の石筆賞を受賞します。金の石筆賞はオランダ語の作品に与えられますが、銀の石筆賞は翻訳作品も選ばれます。過去には日本人作家の作品も銀の石筆賞を受賞しています。

真夏の児童書パーティー(Midzomerkinderboekenborrel)が6月に開かれ、銀の石筆賞、銀の絵筆賞、銀のパレット賞、旗と吹流し賞の作品が発表されます。これらの中から最終的に金の絵筆賞、金のパレット賞が9月に選ばれ、10月に行われる子どもの本の大イベント「子どもの本の週間(Kinderboekenweek)」のオープニングで金の石筆賞は発表されます。

『小さなソフィーとのっぽのバタパタ』は、1985年にエルス・ベルフロムが金の石筆賞、ター・チョン・キンが金の絵筆賞を同時に受賞した、文も絵も高い評価を受けた作品です。また、オランダ出身の現代美術の巨匠であるピート・モンドリアンやその作風を題材として取り入れたワウター・ヴァン・レークの『ケブドリとモンドリアンドリ』、ベルギーのフランドル地方出身のシェフ・アールツによる彼自身の物語に、マリット・テルクヴィストがイラストをつけた『おねえちゃんにあった夜』など、文章と絵が互いに魅力を高めあっている作品もあります。



『小さな船長の大ぼうけん』
P.ビーゲル 作
上野瞭 訳
C.ホルンダー 画
あかね書房 1979
【1972年金の石筆賞受賞】



『小さなソフィーとのっぽのバタパタ』
エルス・ベルフロム 作
ター・チョン・キン 絵
野坂悦子 訳
鈴木ひろみ 装丁
前田浩志・横浜順美 フォーマット
徳間書店 1999
【1985年金の石筆賞・金の絵筆賞ダブル受賞】

『ケブドリとモンドリアンドリ』
ワウター・ヴァン・レーク 作
野坂悦子 訳
中嶋香織装丁・本文デザイン
朝北社 2012
【2012年銀の石筆賞受賞】



『おねえちゃんにあった夜』
シェフ・アールツ 文
マリット・テルクヴィスト 絵
長山さき 訳
鳥井和昌 装丁
前田浩志・横浜順美
カバーフォーマット
徳間書店 2015
【2014年銀の石筆賞受賞】



きん え ふでしょう ぎん え ふでしょう 金の絵筆賞・銀の絵筆賞 Gouden Penseel & Zilveren Penseel

「金の絵筆賞(Gouden Penseel)」は、前年にオランダ語圏で出版された最も優れた絵入りの本に対して与えられる賞です。CPNBとオランダ画家協会が中心となり創設、1970年に「子ども絵本賞(Kinderkijkboekenprijs)」として始まり、1973年に現在の名称に変わりました。1981年から「銀の絵筆賞(Zilveren Penseel)」が追加され、現在は2作品に対して銀の絵筆賞が、そこから1作品が金の絵筆賞を受賞するという選定方法に変わっています。このほかに佳作として「旗と吹流し賞(Vlag en Wimpel)」が続き、さらに2012年からは、海外の画家による作品には「金・銀のパレット賞(Gulden en Zilveren Paletten)」という別の賞が授与されるようになりました。

日本人作家の作品では、国際アンデルセン賞画家賞の受賞経験もある安野光雅の『天動説の絵本：てんがうごいていたころのはなし』が、1981年に銀の絵筆賞を受賞しています。

当初は新たな才能を世に広めるという意味合いが強かったとされていますが、現在は、造本も含め本全体としての質の高さが重要な評価基準となっています。2010年に金の絵筆賞を受賞したロナルド・トルマン/マライヤ・トルマン親子の『ツリーハウス』は、芸術性の高い文字のない絵本です。



『10びきのいたずらねこ』
メンシェ・ファン・キューレン 文 ヤン・ユッテ 絵
野坂悦子 訳 Harilon design 装幀 朝北社 2002
【2001年金の絵筆賞受賞】



『小さな小さな魔女ビッキ』
トーン・テレヘン 文 マリット・テルクヴィスト 絵
長山さき 訳 森枝雄司 本文・カバーデザイン
前田浩志・横浜順美 カバーフォーマット 徳間書店 2006
【2006年金の絵筆賞受賞】

『シラユキさんとあみあみモンスター』
アンネマリー・ファン・ハーリングエン 作
野坂悦子 訳
安東由紀 日本語版デザイン
BL出版 2016
【2015年銀の絵筆賞受賞】

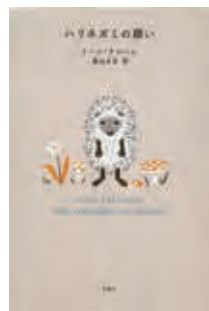


『ツリーハウス』
ロナルド・トルマン、マライヤ・トルマン 作
ロナルド・トルマン エッチング
マライヤ・トルマン イラスト
西村書店東京出版編集部
2012
【2010年金の絵筆賞受賞】



テオ・タイセン賞 Theo Thijssen-prijs

テオ・タイセン賞は「青少年文学のためのテオ・タイセン賞 (Theo Thijssen-prijs voor kinder- en jeugdliteratuur)」と
いい、オランダの優れた作家の業績を表彰する賞で、1988年
から3年に一度授与されています。前身は1964年に始まった
「子どもの本のための国家賞 (Staatsprijs voor een
kinderboek)」で、1967年に「青少年文学のための国家賞
(Staatsprijs voor kinder- en jeugdliteratuur)」と改称し、
1987年より現在の名称になりました。賞の名称は、オランダ
の著名な教育者であり、作家でもあったテオ・タイセン
(Theo Thijssen, 1879-1943)に由来します。テオ・タイセン賞
になってからの主催は、P.C.ホフト賞財団文芸部門です。
歴代の受賞者には、動物たちが主人公の物語を数多く編
み出してきたトーン・テレヘン(1997年受賞)、詩人、イラスト
レーターとしても活躍するヨーケ・ファン・レーウェン
(2000年受賞)など、オランダを代表する作家が名を連ねて
います。



『ハリネズミの願い』
トーン・テレヘン 著
長山さき 訳
祖敷大輔
イラストレーション
新潮社装幀室 デザイン
新潮社 2016



『みんながそらの日』
：モロッコの風のなかで』
ヨーケ・ファン・レーウェン、
マリカ・ブライン 作
野坂悦子 訳
平澤朋子 表紙・本文さし絵
長坂勇司 装幀
鈴木出版 2009

マックス・ベルジュイス賞 Max Velthuis-prijs

オランダの優れたイラストレーターの全業績を表彰する賞
です。2006年に創設され、2007年から3年に一度授与されて
います。賞の名称は、オランダの絵本作家で、国際アンデルセン
賞画家賞も受賞したマックス・ベルジュイス(オランダ語の
原音に近い「マックス・フェルトハウス」とも)の名を冠してい
ます。主催はP.C.ホフト賞財団文芸部門です。

マックス・ベルジュイスの作品には人間的な特徴を備えた
動物が登場し、代表作の「かえるくん」シリーズで国際的な評価
を高めました。

2016年にこの賞を受賞したディック・ブルーナは、日本で
も「うさこちゃん」「ミッフィー」の生みの親として広く知られ、
生涯で120冊以上の絵本を作り、ポスターやブックカバーの
デザインにも携わった業績が評価されました。

『かえるくん
どうしたの』
マックス・ベルジュイス
文と絵
清水奈緒子 訳
セーラー出版 1990



『かえるくんと
りのうた』
マックス・ベルジュイス
文と絵
清水奈緒子 訳
セーラー出版 1991

オランダ子ども審査団賞 Prijs van de Nederlandse Kinderjury

6〜12歳の子どもの投票で選ばれた人気のある本に贈られる
賞です。年齢条件を満たしていれば、だれでも子ども審査団として投票
でき、投票は書店・図書館・学校などで配る用紙がオンラインで行い
ます。参加者は6〜9歳、10〜12歳の2グループに分かれ、自分が好
きな本を3冊選んで投票します。1988年にこの賞が始まって以来、
毎年6〜9歳部門で1冊、10〜12歳部門で1冊が選ばれています。

1997年までは13〜16歳部門もありました。
近年「子ども委員」制を取り入れ、投票による上位5作品を受賞
候補作とし、6〜12歳の子ども委員12名が話し合って受賞作を
決定するようになりました。

パウル・ヴァン・ローンの「オオカミ少年ドルフィ」シリーズは、
1998年から2009年までに7回受賞しており、オランダの子どもの
心から絶大な人気を集めています。

金の額縁賞 Gouden Lijst

12〜15歳までを対象にした最も優れたヤング・アダルト(YA)作品
に与えられます。大賞の金の額縁賞の2作品(オランダ語原作、外国
語からの翻訳1作品ずつ)のほか、佳作として3作品が選ばれます。

金の額縁賞は、CPNBがYA作品向けに1997年から授与してきた「金
のキス賞 (Gouden Zoenen)」を2008年を最後に取りやめたことに対
し、同カテゴリーで新たな賞を作ろうとした作家らの思いに共鳴した
額縁店が、賞のトロフィーとして額縁を作成したことをきっかけに、
2011年から新たなYA向けの賞として誕生しました。

『翼のある猫』は、主人公が夢世界で不思議な商品売の商社の
秘密を探って旅をする長編ファンタジーです。イサベル・ホーフィ
ングのデビュー作で、オランダでベストセラーとなりました。

ワウテルチェ・ピーテルセ賞 Woutertje Pieterse Prijs

1988年から毎年、前年に出版されたオランダ語の原作のうち、子どもや若者
(0〜15歳)向けの最も優れた本を表彰する賞です。賞の名称は、ムルタトゥーリ
が書いた本の登場人物から命名されました。賞のねらいを、オランダ語で書か
れた子どもと若者向けの本の質を向上させることにあり、文章、ジャンル、
テーマ、イラスト、デザインなどで評価されます。主催はワウテルチェ・ピーテルセ
賞財団です。

2005年受賞作の『ケーキをさがせ!』は、デー・チョン・キンの文字なし絵本です。
ケーキを盗まれた犬は犯人のネズミを追いかけて、森や川を越え進んでいきます。
並行して他の動物の話も展開し、何度読んでも新しい発見のある絵本です。



『やい手をあげろ!』
R.クロムハウト 作
末吉暁子 訳
津尾美智子 絵
あかね書房 1991
【1990年受賞】



『オオカミ少年ドルフィ。1
(はじまりの夜1)』
パウル・ヴァン・ローン 作
西村由美 訳
小倉正巳 絵
田原美和 装丁/デザイン
学習研究社 2009
【1998年受賞】



『翼のある猫(上・下)』
イサベル・ホーフィング 著
野坂悦子、うえだはるみ 訳
永松大剛(BUFFALO.GYM) 装丁
佐藤正樹 装画
河出書房新社 2010
【2003年受賞】



『100時間の夜』
アンナ・ウオルツ 作
野坂悦子 訳
君野可代子 装画
中嶋香織 装丁
フレール館 2017
【2015年受賞】



『ケーキをさがせ!』
デー・チョン・キン 作・絵
百足屋コウコ
(ムシカゴグラフィクス)
カバーデザイン
前田浩志・横濱順美
カバーフォーマット
徳間書店 2008
【2005年受賞】